

(案)

平成29年9月 日

香川県知事 浜田 恵造 殿

高松市在宅医療介護連携推進会議

委員長 吉澤 潔

香川県立保健医療大学及び大学院における在宅看護担当看護師の養成に係る
人材確保に関する要望書

香川県において設置されております香川県立保健医療大学におかれましては、地域に貢献する高等教育機関として、保健・医療・福祉の分野の発展に寄与されておられますことに対し、深く敬意を表する次第であります。

さて、人口減少、少子・超高齢社会の本格的な到来に伴い、地域住民の保健・医療・福祉に対するニーズは多様化しております。その一方で、これに応えるための保健医療技術につきましても、関係者のたゆまぬ努力により、日々急速な進展が見られるなど、保健・医療・福祉に関わる諸活動は、従前にも増して高度化・複雑化している状況にあります。

このため、医療や介護を必要とする人が、可能な限り、安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるためには、医療・介護の関係機関が連携し、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制の構築が重要であると認識しております。

このような中、高松市から高松市医師会への委託により設置しております、「高松市在宅医療介護連携推進会議」では、医療・看護・介護・福祉等の専門職が連携し、情報を共有しながら、サポートしていく体制の構築に取り組んでいるところでございます。

このような体制を構築するためには、医師のみならず歯科医師、薬剤師、看護師、保健師、介護支援専門員、医療ソーシャルワーカー等との連携・協力体制の構築が不可欠です。このため、医療技術職におきましては、豊かな人間性や倫理観、専門的な知識経験の下に、多職種連携によるチーム医療を効果的かつ実践的にマネジメントできる、有能な人材の養成と確保が急務であるものと存じます。

香川県立保健医療大学では、これまで「地域の保健医療をリードする人材を育成する。」を基本理念の一つとして高度専門職業人、教育・研究・管理者の養成に取り組まれているところでございます。今後さらに、地域に貢献する高等教育機関として、在宅医療・介護連携を推進していくための有能な人材を養成するため、香川県におかれましては、在宅看護担当看護師の養成に係る人材を確保し、在宅看護の基盤教育の充実を図られますよう、ここに強く要望をいたしますので、よろしくお願い申し上げます。